

## 本邦における小児侵襲性肺炎球菌感染症を引き起こす肺炎球菌血清型に関する サーベイランス 2026～2028：ニューモキャッチ2 —マイクロバンクへの保存と提出方法—

検体提出いただくにあたり『微生物学検査依頼書』『検体ラベル』『マイクロバンク』『滅菌綿棒』『滅菌ピペット』『バリアパウチ』『検体輸送袋（凍結）』をお送りいたします。以下の手順に従い検体発送の準備をお願いします。

- (1) 18～24 時間純培養した検査対象となる幼若菌を滅菌綿棒等でとり、マイクロバンク（バイアル）中の液体培地に濃度がマックファーランド# 3～4※（約  $10^6$  CFU/mL）に相当するように浮遊させます。

※ マックファーランドとは菌液の濁度から菌量を推定する際に用いる単位です。



- (2) 浮遊菌をビーズに付着させるためマイクロバンク（バイアル）を 4～5 回上下（転倒混和）させます。

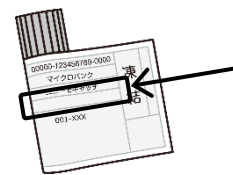


- (3) 滅菌ピペットでビーズの上面程度まで浮遊菌液を吸引してください。菌液を完全に吸い切らないようにお願いします。

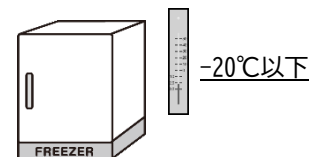


- (4) 付属の検体ラベルに「登録 ID」が正しく記載されていることを確認の上、マイクロバンクに貼付してください。

※ 1 症例あたり 1 検体のみ出検することが可能です。複数部位で肺炎球菌が検出された場合は、疾患に最も近い無菌部位の検体をご提出ください。

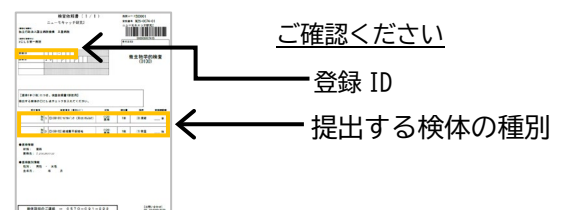


- (5) 回収までマイクロバンクをフリーザー（ $-20^{\circ}\text{C}$ 以下）に入れ保存してください。



- (6) 微生物学検査依頼書に下記項目が正しく記載されていることをご確認ください。

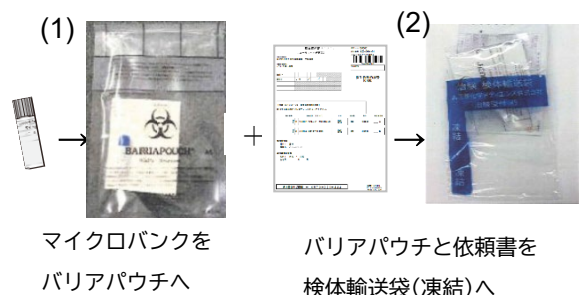
- ☐ 登録 ID（(4)検体ラベルと同じ ID です）
- ☐ 提出する検体の種別（マイクロバンク）



- (7) 検体の梱包をお願いします。

メディフォード株式会社の担当者が回収に伺いますので、回収までに以下の手順でご準備ください。

- ① マイクロバンクをバリアパウチに入れて密閉して下さい。（バリアパウチの保管手順は別紙をご覧ください。）
- ② 密閉したバリアパウチと微生物学検査依頼書を検体輸送袋（凍結）に入れ、回収担当者にお渡しください。



- (8) 別紙「菌株回収のご予約について」をご覧ください、菌株回収のご予約をお願いします

ご不明な点がございましたら、研究事務局までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】  
ニューモキャッチ研究事務局  
TEL：03-6228-4835  
E-mail：info@pneumocatch.jp